

江波山気象館展示体験マップ

Q1

雲の正体はなあに？雲の中に入って確かめてみよう。
水や氷のつぶ ちりやほこり 白色の砂

Q2

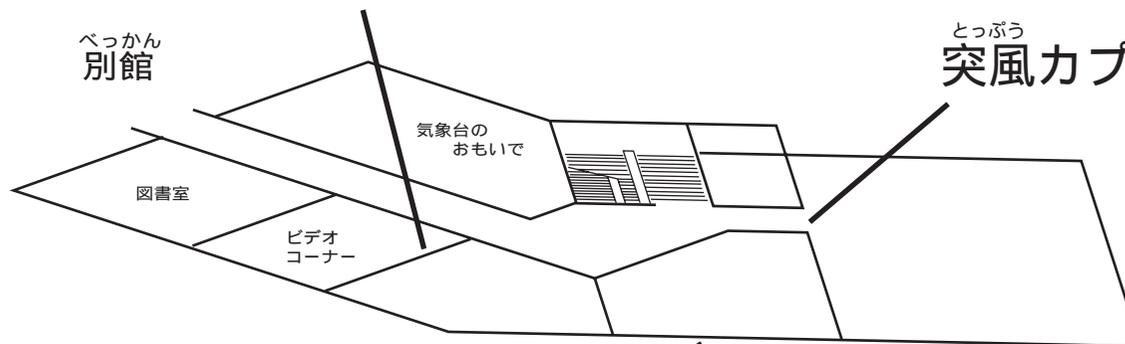
風速5m、15m、20mの風の強さを体験できます。
風に向かって歩けなくなるのは風速何mぐらいからかな？
10.8m 13.9m 17.2m

タイフーンボックス



べっかん 別館

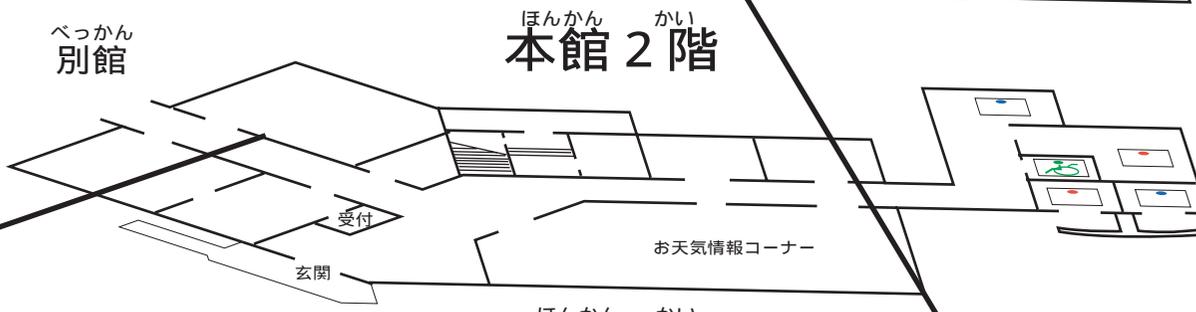
とつぼう 突風カプセル



べっかん 別館

ほんかん かい 本館 2階

みず 水のたび



ほんかん かい 本館 1階

じっけんしつ フランクリンの実験室

海の水は蒸発して水蒸気になり、水蒸気が雲になり
雲が再び雨を降らせて森から川、そして海へともど
ってきます。この水のたびのことを「の循環」っ
ていうのかな？

みず 水 くうき 空気 かぜ 風

雷が電気であることを発見した人はだれかな？

ワット フランクリン パスカル

江波山気象館平和学習見学マップ

江波山気象館本館建物（旧広島地方気象台）は昭和20年8月6日に投下された原子爆弾によって被害を受けました。

その傷跡や当時の気象台の様子などをめぐりましょう。



曲がった窓枠

カンベル日照計

気象台の屋上に設置されていたカンベル日照計は、原爆の雲や煙によって太陽がくれた時間を記録していました。



8月6日の当番日誌

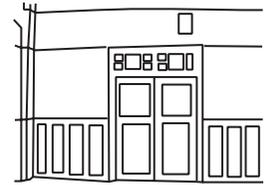
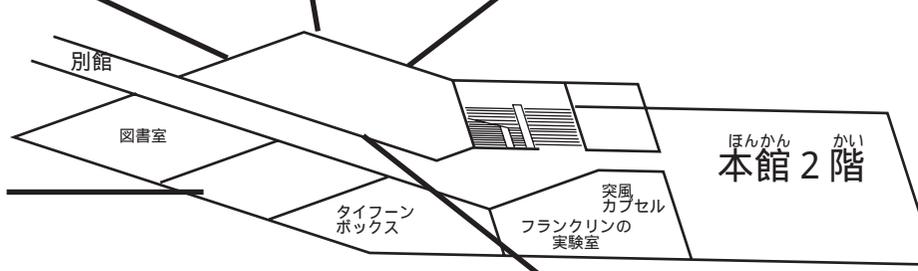
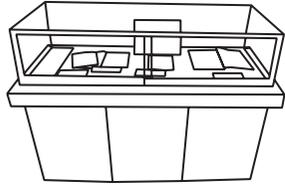
被害を受けた気象台の状況が記録されています。

曲がった窓枠

爆風によって曲げられた窓枠です。当時の気象台の職員によりガラスがはまるように修復されました。

「空白の天気図」ビデオ上映

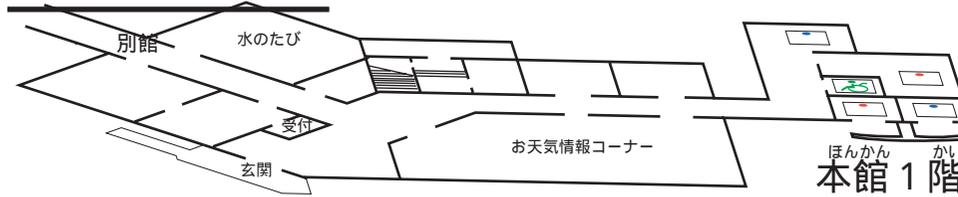
旧広島地方気象台を舞台として書かれた柳田邦男著の「空白の天気図」の一部を上映しています。



ガラスの破片が刺さっている場所

被爆保存壁

爆心地の方向を向いた旧広島地方気象台北側の外壁は、原子爆弾の爆風を受けました。



ガラスの破片が刺さった壁

爆風で飛び散ったガラスの破片が、壁面に突き刺さったままの状態で見守られています。

展示名

自分でみたり気づいたりしたことを記入しよう

曲がった窓枠 ()

カンベル日照計 ()

8月6日の当番日誌 ()

ガラスの破片が刺さった壁 ()

「空白の天気図」ビデオ上映 ()

被爆保存壁 ()